

福島区の将来像

安全・安心で、賑わいに充ちたエコなまち ふくしま

福島区将来ビジョン
《概要版》



平成33年度を目標に、日常生活においても予期せぬ災害時においても、あらゆる世代に「安全で安心なまち」だと実感してもらえ、また、区外からもたくさんの人々が集まり、人と人とが互いに認め合い支え合う、花とみどりがあふれる魅力あるまちをめざします。



将来像を支える 7つの柱

防災・減災の強化 —地域力の強化による防災・減災対策—

福島区に以前から住んでおられる地域の方々と、高層マンションなどの新たに福島区に入ってきた方々が日頃から「持ちつ持たれつ」の関係」を築き、地域力を強化することで、いざという時に要援護者の支援体制を含めた自助・共助が機能する体制づくりを進めます。また、地域住民の協力を得た密集住宅市街地の改善、停電時の避難所の電源対策として電気自動車の活用、防災スピーカーの充実などハード面での取組も進めます。

平成27年度までに取り組んだ事業の一例

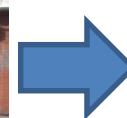
- 区内一斉の津波避難訓練実施
- EV車を活用した停電時の避難所の電源確保
- 新型防災スピーカーの設置 など

防犯強化 —街頭犯罪の撲滅—

防犯カメラ・街路防犯灯の迅速な増設といったハード面の整備と、夜間巡回強化・防犯意識の高揚といったソフト面との両面から犯罪を未然に防ぐ環境を整えて街頭犯罪を撲滅し、市内で犯罪が一番少ないまちをめざします。



消去前



消去後

- 区役所による防犯カメラの設置
- 地域と連携した落書き消去 など

子育て環境の充実 —安心して子育てできるまちづくり—

仕事と子育ての両立を望むニーズや子育て不安に対応し、安心して子育てができる環境をつくるため、待機児童の解消、病児保育の充実、子育て中の親子の交流などを進め、子育て世代が住みたいと思う区をめざします。

- 妊婦教室の事業拡充
- 保育付き母親の健康づくりセミナー
- 赤ちゃん広場の実施
- フッピーキッズルーム など



高齢者・障がい者の下支え —幅広い事情に対応できる バリアフリーの拡大—

高齢者、障がい者、認知症の方々等の多岐に及ぶ幅広い事情に対応できるバリアフリーの環境を拡大し、どんな方でも安心していきいきと生活できるような仕組みづくりを進めます。



- 高齢者・障がい者の総合相談窓口開設
- ショートステイ受入人数の拡充 など

地域の活性化 —地域住民・企業が牽引する 地域活性化—

区内3駅の駅前にシンボルとなるものを創設するなど、「福島区に行ってみよう」と思ってもらえるような魅力あるにぎわいづくりについて、区民・商店街・企業が一体となって考え、すぐそこまで来ているキタのビジターを福島区へも呼び込みます。

- 中央卸売市場とその周辺・ほたるまちエリアの魅力向上
- なにわ筋西側歩道拡幅 など

花とみどりのまちづくり —花と緑あふれる 環境にやさしいまちづくり—

区内のあちらこちらに花とみどりがあふれる明るく美しいまちにすることで、まち全体のうおいや活性化につなげていきます。また、区民や企業が緑化活動を通じて環境意識を高められるエコなまちをめざします。



- 区の花「のだふじ」をのだふじの会の協力を得ながらPR
- 種花会等と連携し、小中学校で育てた花を地域に
- 企業を巻き込んだ緑化事業の促進 など

学校との連携 —いじめのない仲間づくりが できる学校づくり—

「未来に向けてたくましく生きる“なにわっ子”の育成」を念頭に、いじめや不登校がなく、子どもたちがお互いを大切にし、元気な子どもでいっぱいのもちになります。また、子どもたちが地域社会の一員としての自覚を高められる取組を推進します。

- スクールカウンセラーの派遣の拡充
- 中学校給食の促進 など